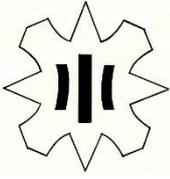


学校だより



せせらぎ

Well-being



令和5年10月号

山中小学校長 尾崎 純子

「やってみよう 山中小! 2023 秋」

いつまで続くのだろうと思っていた暑い日々でしたが、朝夕すっかり涼しくなり爽やかな秋風が感じられるようになりました。2学期の大きな行事である運動会が当初の予定通り30日土曜日に開催できましたことは、グラウンド整備に始まり当日の保護者のみなさまのご協力のおかげだと思っています。今年度、テントの片付けにも積極的に協力していただき、ほんとうにありがとうございました。

9月はホームページでも簡単にお伝えしたように、学校運営協議会の方の紹介で、授業に地域の方をお招きすることもでき、充実した学びの機会を増やすことができました。これからも様々な機会をとらえ、「今も未来もたくましく生き抜く山中っ子」の育成のために、職員みなで尽力していきたいと思えます。お気づきのことがございましたら、遠慮なくお知らせください。

令和5年度 秋の運動会が終わりました!

今年のスローガン 「や やってみよう ま 周りとの協力



な 何があっても全力で か 勝っても負けても楽しい 」運動会

今年度、6年生が話し合っで決めたスローガンのように、全力で取り組んだからこそ得られる、爽快感や達成感をぜひ味わってほしいと思っていました。一人ひとり個人の運動会での目標をきめ、各種目練習や団練習に取り組みました。最初は、自分ごとになっていなかった子どもたちもいましたが、一生懸命に声をからしてまでがんばる高学年の子どもたちの様子をうけて、本番ではとてもいい表情で、必死にパフォーマンスをしていました。応援練習を重ね、日に日に力強くなっていく姿を見て、改めて「子どもってすごい!」という思いを強くしました。各自、学級で運動会を振り返り、今後、団でも活動の締めくくりをします。今年の6年生のがんばりが、次の学年、また次の学年と引き継がれていったらいいと願っています。

4年ぶりに復活した応援合戦 どの団も団長を中心に精一杯エールを送りあいました。

来賓の方や応援にかけつけた先生たちも、素晴らしいと言ってくださいました。



こいこい祭りステージ発表（9月22日）

児童の振り返りより

- ・ステージ発表でのぼくの役割は、「私たちは山中温泉に観光客がもどり、活気がある町になることを願って、ぼくたちはこれからもできることをしていこうと思います。」というセリフでした。山中温泉はとてもよい所です。自然も豊かで温泉もいいし、ぶらぶら歩いても楽しいです。日本全国の人に山中温泉の魅力をもって知ってもらいたいです。みんなで発表して、うまくいったのでよかったです。（6年）
- ・発表する前は「緊張するな」とか「恥ずかしいな」とか思ってしまうけど、ステージに立ったら緊張や恥ずかしさがなくなって楽しくなってきた。これからもいろいろなことにチャレンジしていきたい。（5年）

今年度は「やってみよう山中小！ 150周年記念・チャレンジ地域発信」ということで、20分間ステージ発表の時間を確保しようと準備しました。5年生の司会チームは、タブレットを活用し司会原稿を考え、どのように話したら伝わるかと、練習を重ねました。ミュージッククラブも9月に入り放課後練習をこなし、パフォーマンスに立候補した2チームも自主練習に励みました。幸い天気にも恵まれ、外のステージで発表できて、ほんとうによかったです。本番では、河南小6年生の応援ほか、多くの方々のあたたかい応援を受けて、出演した子どもたちは大きな達成感を得ることができました。みんなで力をあわせて物事を成し遂げる楽しさを経験することができ、有意義な機会となりました。今後も、さまざまな機会を活用し、子どもたちが自分たちで考え自信をもって行動することができるよう、支援していきます。ご協力お願いいたします。

6年生全員で、総合的な学習で調べたことやインタビューしたこと、さらにこれまでに山中のPRをしたことなど、短くまとめて会場の人たちに伝えました。

ステージ発表者全員で歌った山中小校歌
会場の方たちも歌ってくださり嬉しかったです。

